



平成 21 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社NFKホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 城寶 豊  
(JASDAQ・コード6494)  
問合せ先 役職・氏名 取締役 田中 耕  
電話 045-575-8000

## 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想値との差異及び

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 14 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信」および平成 21 年 8 月 12 日付「平成 22 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました第 2 四半期累計期間連結業績予想値と本日発表予定の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想の修正等

##### (1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

|  | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|--|-------|------|------|--------|-----------------|
| 前回予想 (A)                                   | 1,698 | △73  | △64  | 84     | 2.87            |
| 今回修正 (B)                                   | 1,593 | 31   | 31   | 151    | 5.09            |
| 増減額 (B - A)                                | △105  | 104  | 95   | 67     | —               |
| 増減率  | △6.2% | —    | —    | 79.8%  | —               |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績<br>(平成 21 年 3 月期第 2 四半期) | 1,827 | 150  | 161  | 114    | 3.85            |

##### (2) 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値との差異について

売上高は、前回の予想を 105 百万円下回る 1,593 百万円となりました。これは、子会社の日本ファーンエス株式会社において単体ベースでの売上高が前回予想を 110 百万円下回ったほか、株式会社光電機製作所、株式会社ファーンエス E S においても前回予想をそれぞれ 5 百万円下回ったことによるものです。営業利益、経常利益につきましては、日本ファーンエス株式会社においてクレームや不採算案件の抑制、販売管理費の削減などに努め、単体ベースでの営業利益が前回予想の 3 百万円を 95 百万円上回る 98 百万円となった結果、それぞれ 31 百万円の利益となりました。これらの結果、四半期純利益は 151 百万円と前回の予想を 79.8% 上回る見込みであります。

## (3) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)

|                         | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回予想（A）                 | 3,124 | △190 | △178 | △30   | △1.03          |
| 今回修正（B）                 | 2,820 | △143 | △139 | △11   | △0.37          |
| 増減額（B－A）                | △304  | 47   | 39   | 19    | －              |
| 増減率                     | △9.7% | －    | －    | －     | －              |
| （ご参考）前期実績<br>（平成21年3月期） | 3,895 | 147  | 155  | 88    | 2.99           |

## (4) 通期業績予想の修正について

企業業績の悪化にともなう設備投資の冷え込みは一段と顕著になってきており、下期に向けた新規受注が低迷していることから、各部門別の業績予想の見直しを行った結果（下記部門別通期業績予想を参照）通期連結業績予想を修正することを決定致しました。

厳しい事業環境ではございますが、引き続き積極的な営業活動を展開して新規受注の獲得を目指すとともに、販売管理費の抑制などに努めてまいります。

## 主な部門別 通期（連結）売上高予想

(単位：百万円)

| 部門                     | 前回予想売上高 | 修正後予想売上高 | 増減率   |
|------------------------|---------|----------|-------|
| 環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門 | 1,047   | 1,161    | 10.9  |
| 工業炉部門                  | 582     | 455      | △21.8 |
| ボイラ用機器部門               | 431     | 416      | △3.5  |
| 工業炉用機器部門およびHRS部門       | 442     | 429      | △2.9  |
| メンテナンスサービス部門           | 209     | 209      | 0.0   |
| 部品部門                   | 231     | 214      | △7.4  |
| 電気計装制御盤部門              | 102     | 81       | △20.6 |
| その他                    | 86      | 35       | △59.3 |

\*セグメント間取引について、一部相殺消去などを考慮していない部分があります。

## ① 環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門

環境装置石油化学部門および産業機械用機器部門につきましては、大型受注案件等もあり前年度売上高833百万円を上回る1,047百万円の売上高を予定しておりましたが、一部の案件において追加受注等があったことなどから、1,161百万円の予想に修正しております。

## ② 工業炉部門

工業炉部門におきましては、回転炉などの大型製品の受注が予想以上に低迷していることなどから、前回の予想を下回る455百万円の予想に修正しております。

## ③ 部品部門

部品部門につきましては、全社的に受注が低迷している影響から予想を下方修正しております。

④ 電気計装制御盤部門

電気計装制御盤部門につきましては、受注状況にやや明るい兆しがあるものの、第2四半期連結累計期間の業績が予想を21百万円下回ったことから、通期の予想についても同額の修正を行いました。

⑤ その他

その他の売上高予想には、海外新規顧客向けへの当社製品販売（通期で50百万円を予定）などが予定されておりましたが、海外市況の悪化による影響などから、現在のところ見通しが立たない状況となっているため、今回予想を修正しております。

2. 平成22年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（単位：百万円）

|                                   | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 四半期純利益 | 1株当たり<br>四半期純利益 |
|-----------------------------------|-------|--------|--------|--------|-----------------|
| 前回予想（A）                           | 190   | 30     | 37     | 40     | 1.37            |
| 今回修正（B）                           | 176   | 17     | 28     | 112    | 3.78            |
| 増減額（B－A）                          | △14   | △13    | △9     | 72     | －               |
| 増減率                               | △7.4% | △43.3% | △24.3% | 180.0% | －               |
| （ご参考）前期第2四半期実績<br>（平成21年3月期第2四半期） | 225   | 41     | 43     | 94     | 3.17            |

(2) 第2四半期累計期間の業績予想値との差異について

売上高につきましては、前回の予想を14百万円下回る、176百万円となりました。これは当初見込まれていた、海外新規顧客向けへの当社製品販売（15百万円を予定）が海外市況の悪化による影響などから延期となったことなどによるものです。営業利益、経常利益につきましては、訴訟関連の支払手数料や印紙代費用12百万円などが発生したことにより、それぞれ予想を下回る17百万円および28百万円の利益となりました。四半期純利益につきましては、連結納税による子会社からの税金帰属分57百万円や退職給付引当金戻入11百万円などが計上されたため、当初の予想を上回る112百万円となる見込みであります。

(3) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

|                         | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|-------|----------------|
| 前回予想（A）                 | 361    | 39     | 47     | 52    | 1.78           |
| 今回修正（B）                 | 309    | 2      | 15     | 79    | 2.66           |
| 増減額（B－A）                | △52    | △37    | △32    | 27    | －              |
| 増減率                     | △14.4% | △94.9% | △68.1% | 51.9% | －              |
| （ご参考）前期実績<br>（平成21年3月期） | 419    | 63     | 44     | 92    | 3.12           |

(4) 通期業績予想の修正について

売上高につきましては、当初見込まれていた海外新規顧客向けへの当社製品販売（通期50百万円を予定）が海外市況の悪化による影響などで、現在見通しが立たない状況にあることなどから、前回の予想を下回る309百万円となる見込みです。営業利益、経常利益につきましては、売上高の減少ならびに前述の訴訟関連の支払手数料や印紙代費用の発生などにより、それぞれ予想を大幅に下回る2百万円および15百万円の利益となる見込みです。当期純利益につきましては、連結納税による子会社からの税金帰属分が28百万円見込まれていることや、退職給付引当金戻入38百万円などが計上される予定のため、当初の予想を上回る79百万円となる見込みであります。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上